

<クラブマンモトクロス①のご報告>

2013年クラブマンモトクロス開幕戦は、2/17に川越のオフロードヴィレッジで開催いたしました。河川敷のコースらしい寒風吹きすさぶ中、200台弱のMXフリークが集まり、朝方に凍っていたコース路面も溶けるほどの熱気にあふれました。コースは全日本大会に向けた過激なレイアウトでしたが、大会直前にコースオーナーに手直しをお願いしたおかげもあり、大会当日は大きなケガ人も出ず、無事に終了することができました。

なお今回はWESTWOOD様から新製品のマトリックス・キャンピーが1名様に当たる抽選企画があり、J450にエントリーしていた池田均選手(Team Mr.Dan)が見事当選いたしました。また2012年および2013年登録時のアンケートにお答えいただいた方の中から3名様にスポーツドリンク(各1ケース24本)をご用意しましたが、当選者が現地になかった模様で渡せなかったため、第2戦の会場で再抽選会を催しますので楽しみに。

また今回からの新しい企画もいくつかありました。①まず昼休み時間にエントラントのお子様を対象とした体験走行会を行いました。小さなバイクが大きく見える程の可愛いキッズライダーが、コースのアップダウンをものともしない見事な走りを見せてくれました。コース脇で応援するお父さんの姿が微笑ましかったです。②さらにレギュラークラスの暫定表彰式では、見事1位(GP/SEは総合優勝者)となったライダーに、(株)ワークスワン様ご提供によるヴィクトリーTシャツを進呈しました。そしてこれらの企画は今後も続けていきますので、第2戦以降も楽しみに。

そしてX-GAMEでも有名なスポーツドリンクブランド”RED BULL”がMCFAJの情報をキャッチし、ドリンクサービスに来てくれました。パドックも大いに盛り上がり、午後からの走りに翼がさずけられたようでした。

連盟最速のGPクラスには、MFJ-iAでNo.1を付けた山本鯨選手がゴール直後の変則大ジャンプも華麗に舞いながら、混走のSEクラス全選手をラップする激走を見せ総合優勝。SEクラスでは#111MARCULA選手が手堅く確実な走りで見事総合優勝しました。SE150では2012チャンピオン大内大輔選手(野田ジュニアRC)が素晴らしい走りで見事総合優勝し、次回からフルサイズでの参戦を宣言しました。そして注目はE150でゼッケン1番を付けるレディースライダー、宮本淑美選手(Team-M・1-RACING)が並み居る男どもを蹴散らし、粘りの走りで見事に優勝を飾りました。



①



②



③



④



⑤

- ①IA-2でゼッケン1番を付ける山本鯨選手
- ②確実な走りで優勝したSE#111MARCULA選手
- ③SE150クラス2012チャンピオン大内大輔選手
- ④並み居る男どもを蹴散らし優勝した宮本 淑美選手
- ⑤フルグリッドに近い台数で盛り上がったN250クラス

写真提供=Photo Hunter
レポート=Nakane Design Office